

地域活性化



開通を祝い記念植樹す
草野会頭ら

た。
相馬―相馬山上IC間は
22日に開通し、常磐道と接
続する。開通済みの相馬山
上―霊山IC間延長27.5
キロを含め総延長の74%の
33.5キロが通行可能となる。



蛭田選手(前列中央)を激励

銀座に福島の花の苗

西信中生ら植栽、現状発信



福島市荒井地区で育てられた菜の花の苗を東京・銀座に届ける「銀座・福島菜の花交流会」は14日、東京・銀座で開かれた。同市の西信中生徒らが都内の銀座中を訪ね、菜の花の苗の贈呈や植樹の交流を通して福島の現状を発信した。

銀座のビル街でミツバチを飼育するNPO法人銀座ミツバチプロジェクト(東京)の主催、福島ふるさと銀座中の生徒に菜の花の苗を届けた西信中生徒(左側)

体験交流会、あつまの里荒井」づくり地域協議会の共催。蜜源確保と屋上緑化に活用する菜の花を通して交流し、今年で11年目。

西信中2年の阿部宇惟さん、佐川栄介さん、亀岡知央さん、高松悠大朗さん、清野愛結さんのほか、荒井地区住民らが参加。銀座中では菜の花の苗を協力して約千ポットを届けた。

植栽した。西信中生徒が福島について、銀座中生徒が学校について紹介した。

銀座にある紙パルプ会館も訪問。同NPO法人のメンバーに菜の花の苗を届けて植栽作業を行った後、荒井地区で収穫された食材を使った料理を振る舞った。この日の活動で菜の花の苗約千ポットを届けた。

健康ポイント導入

1月から大玉村、商品券と交換

大玉村は来年1月1日から、特定健診の受診や健康づくり教室への参加でポイントを付与する村独自の健康ポイント。

村内に在住または勤務する18歳以上の人が対象で、千円がたまると千円分の村共通商品券と交換できる。

「食」「運動」「社会参加」を柱にあたら健康マラソンへの参加やスポーツ

健康長寿

福島の挑戦

始める。

ト事業を

クラブへの加入など約40種類の対象事業を設定。ポイントは村が配布する健康ポイント手帳で管理する。

村によると、2017(平成29)年度の村民の特定健診受診率は49.4%。県や同規模市町村と比べて受診率は高いが、国が目標とする60%には届いていない。また、メタボリック症候群やその予備軍の割合も年々



同支部は医師、歯科医師薬剤師でつくる三師会を主催

来年は55周年

いわき市のスパリゾートアンズは来年を「創業1」として、1月から記念事業を展開する。テーマは「ビッグ・挑みつづけて、55年」世紀に向けて、これま